

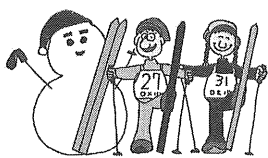
## 教育だより

## 大山スキー教室

マナーやルールを学び  
自主性や協調性を身に付ける

1月15日(木)から17日(土)にかけて、海士中学校の1年生が大山でスキー教室を行いました。

最初の頃は、慣れないスキーに悪戦苦闘していました。最終日には全員が立派に滑ることができました。スキーを通して生徒たちは、難しいことでもあきらめずに挑戦し続けることの大切さを実感することができました。他にも、宿舎などでの生活を通して、ルールやマナー、お互いに協力し助け合うことなど、たくさんのお話を学ぶことができました。スキー教室と



## 生徒の感想

スキー教室で最も心に残っていることは、宿舎での生活です。私が自分自身を反省してよかったのは、係を一生懸命行おうと頑張れたことです。初日はお風呂の後で行う、美化係の仕事を忘れてしまいました。そこで次の日は、朝のところで自分の仕事をきちんと確認しました。そうすると、その日は自分の仕事をしっかりとできました。その他にも、人の仕事を手伝うことができてよかったです。食事係の人をみんなでサポートしたりと、協力し合うことができました。

また、夜にはお互いに注意しながら、就寝時間を守れました。

スキー教室の前に私は「自分の行動に責任をもつ」という目標を立てていましたが、しっかりと守ることができたと思います。ただ、級長として、全体に目を行き届かせるという点で、できなかった部分があったのでそこだけは残念でした。しかし、このスキー教室でいろいろなことが学べたので、これからもそれを生かしていきたいと思います。

(佐藤真理愛)

僕のスキー教室での目標は、「人と協力すること」でした。僕は食事の準備・片づけ、ベッドのシーツの片づけなど、班の人と協力して行動することができました。今までは、他の人と協力することはあまりなかったのですが、このスキー教室では、その大切さを学ぶことができたと思います。しかし逆に、自分の課題も見つかりました。それは、人のことを考えて行動すること

(田中 裕志)

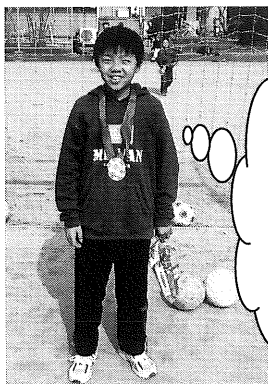
## 体を使って遊ばあや!

「体を使って遊ぶ楽しさを  
知り運動感覚を養う」

『体を使って遊ばあや』は、子ども達の運動不足解消を目的として海士町体育指導委員が中心となつて行っているものです。今年度はフットサルを10月、12月に行いました。今回は3回目の開催となりましたがパス練習、試合形式の練習をした後に、ドリブル競争とボールキック対決を行いました。結果は両種目共に福井小6年生松前丈君が1位でした。

来月は、総まとめとして参加者がみんな楽しんでる大会を行いたいと考えています。皆さんも是非一緒に、体を動かして楽しみませんか!

1位になった松前丈くん!ボールから目を離さず頑張りました。



## 子どもダッシユ村

### 第7回「しめなわ作り」



宇受賀のおじいさんたちむずかしいのに「すごいなあ〜」

12月のダッシユ村は、宇受賀老人会の皆さんを講師に、

## 第8回「大もちつき大会」



一生懸命取り組んだ田植えから稲刈り、今回は、西ノ島、知夫のお友達、そして高校生まで参加して大もちつき大会となりました！

田植えから稲刈りまで一年を通して取り組んできたもち米作りの集大成、「もちつき大会」を1月18日に行いました。

しめなわ作りを行いました。

まずは一通り作り方を見学。

その後、子どもたちがそれぞれワラをもち、撚り合わせて

作っていきます。おじいさん

達はあつという間に作りあげ

るので簡単そうに見えたが、

実際は子ども達の小さな

手ではなかなか難しく、悪戦

苦闘していました。

一人ひとりに丁寧に教えて

いただいたお陰で、最後には

何とか形にし、「家に飾るよ」

と嬉しそうに持ち帰っていました。

この体験は、毎回島前の小

学生全員に参加を呼びかけて

いますが、今回も知夫から2

組の親子と西の島の児童が加

わり、さらに島前高の生徒も

手伝いに来てくれるなど、総

勢50名での賑やかなもちつき

になりました。全部で一斗の

もち米を、3つの白で次々と

ついて丸めていき、会場には

「よいしょ！」と元気のいい

かけ声が響きました。自分達

で苗から育てたつきたてのお

もちの味はまた格別のように

## 海士中エコスクールプロジェクト

### 海士中から世界を救う

## 海士中・環境フェスティバル開催



12月23日、海士中学

校で「環境フェスティ

バル」が開催され、海

士中学生徒が、総合的な

学習の時間で取り組ん

できた内容を発表しま

した。

中学3年生は、4月

から「海士中エコス

クールプロジェクト」

海士中から世界を救

う」を合言葉に学習、

環境活動を進めてきま

した。

当日は、「海、森、食、

エネルギー、ゴミ」の

5チームに分かれて

ブースを設け、それぞ

れやってきた活動を模

造紙やスライドを使っ

て発表。

また、環境に関心を

持つてもらうため、

様々な体験コーナーを

設置し、今、注目され

ているアラメ料理の試

食、キャンドルナイト、

余った木を使った工作

など、日常でできるエ

コを提案し、来た人を

また、環境美化委員会から

は、エコ改修された校舎の

ウォークラリーを行いました。

《地域の方の感想》

●エコクッキング・リサイク

ル・竹炭・キャンドルナイト

など様々な取り組みを、実際

に実践して伝えてくれたので、

私たちも環境に対してもっと

頑張らなければいけないなと

思いました。

《海士中生の感想》

●環境についてもっと知り、

環境活動に取り組んでいき

いです。

●小さなことでも、みんなで

やれば大きいものになるから

海士町みんな動いていけた

らしい。

●この環境フェスティバルを

通して海士町民一人ひとりの

意識が変わったはずなので、

これからまたスタートでき

るらしい。

海士中学生徒の取り組みを伝

えることで、来た人たちが子

ども達の想いに共感し、動き

始めてくれたなら、生徒たち

の願いが達成されていくと思



0 歳児でも自分で本を選ぶよ！

## あまちよう ブックスタート

2月20日（水）海士町子育て支援センターで、ブックスタートを行いました。

0歳児検診の待ち時間を利用して、海士町の目指す「家庭での読書習慣を身につけましょう」というメッセージを、保護者の皆さんに一人ひとり伝えました。

ブックスタートというのは、生まれた子どもに絵本をプレゼントするという事業で、もともとイギリスで始まりました。現在では、日本の多くの自治体で、さまざまな形で行われています。

この事業の目的は、乳幼児に「本の内容の理解」や「本好きにさせる」というよりは、

本を通じて、お母さんやお父さんとのスキンシップをたくさんとることを目指しています。ひざの上で、わが子を抱きながら美しい絵本の世界を楽しめるのは、本当に短い間だけですから、努めてそういう機会を持つてあげてください。

テレビや携帯電話で赤ちゃんの気をそらすことは、脳医学的にも、大変危険な問題だといわれています。

海士町教育委員会では、平成20年度、文部科学省の「発達段階に応じて読書活動への理解を深める取組の調査研究」という事業で、『書き出し』の読書手帖』というノートを保育園・高等学校の児童生徒に配布しました。

これは、読書を楽しみながら、将来、自分が読んだ本について振り返るためのノートです。このノートは、本の一部を「書き出す」という方法をとっていますが、本の中の重要な部分を書き出すことは、文学作品の読書だけでなく、科学や社会の科目でも使える、情報収集の大事な方

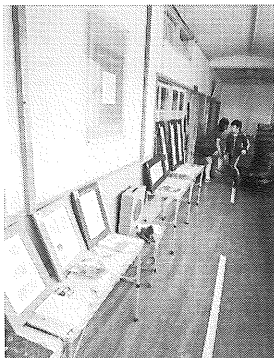
特に小学校就学までは、テレビを消して、ぜひとも、絵本を読める環境を作ってあげてください。もし読みたい絵本がありましたら、ぜひ、教育委員会へご連絡ください。



## 『《書き出し》の読書手帖』展

法と言われています。また、あまり負担を感じることなく、長く使い続けてもらいたいと願って作成しました。

海士小学校と福井小学校ではこの読書手帖を額装して、展覧会を催しました。この展覧会では、さらに素敵な装いの手帖になるよう、いろいろな様式を提案しました。



海士小学校 展示された読書手帖の数々

## スポーツ安全保険のご案内

スポーツ活動、文化活動、ボランティア活動、地域活動、指導活動を行う方々が安心して活動に専念できるための制度です。  
※平成21年度より下記の通り保険の改定をいたします。

| 加入対象者                                      | 補償される団体活動等                                                           | 加入区分 | 掛け金<br>(1人年額) | 傷害保険    |              |            |            | 賠償責任保険<br>てん補限度額<br>(免責金額なし)                      | 共済<br>見舞金 |
|--------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------|------|---------------|---------|--------------|------------|------------|---------------------------------------------------|-----------|
|                                            |                                                                      |      |               | 死亡      | 後遺障害<br>(最高) | 入院<br>(日額) | 通院<br>(日額) |                                                   |           |
| 子ども<br>中学生以下<br>(特別支援学校<br>高等部の<br>生徒を含む。) | 団体活動全般                                                               | A1   | 600円          | 2,000万円 | 3,000万円      | 4,000円     | 1,500円     | 身体・財物賠償合算<br>1事故5億円<br>ただし、身体賠償は<br>1人1億円         | 180万円     |
|                                            | 団体活動全般                                                               | AW   | 1,150円        | 2,100万円 | 3,150万円      | 5,000円     | 2,000円     | 身体・財物賠償合算<br>1事故5億500万円<br>ただし、身体賠償は<br>1人1億500万円 |           |
|                                            | 上記以外<br>(個人活動・個人練習)                                                  |      |               | 1,000万円 | 1,500万円      | 1,000円     | 500円       | 身体・財物賠償合算<br>1事故500万円                             | 対象外       |
| 高校生<br>以上                                  | 文化活動・ボランティア・地域活動<br>団体員の送迎、応援、準備、片付け                                 | A2   | 600円          | 2,000万円 | 3,000万円      | 4,000円     | 1,500円     | 身体・財物賠償合算<br>1事故5億円<br>ただし、身体賠償は<br>1人1億円         | 180万円     |
|                                            | スポーツ活動<br>スポーツ活動の指導                                                  | C    | 1,600円        | 2,000万円 | 3,000万円      | 4,000円     | 1,500円     |                                                   |           |
|                                            | 子どものスポーツ活動の指導限定                                                      | AC   | 1,100円        | 1,000万円 | 1,500万円      | 2,500円     | 1,000万円    |                                                   |           |
| 65歳以上                                      | スポーツ活動                                                               | B    | 800円          | 600万円   | 900万円        | 1,800円     | 1,000円     | 身体・財物賠償合算<br>1事故5億円<br>ただし、身体賠償は<br>1人1億円         | 180万円     |
|                                            | 危険度の高いスポーツ活動<br>該当するスポーツ活動に変更はごさい<br>ません。平成20年度あらまし等のD<br>区分をご覧ください。 | D    | 9,000円        | 500万円   | 750万円        | 1,800万円    | 1,000万円    |                                                   |           |
| 全年齢                                        |                                                                      |      |               |         |              |            |            |                                                   |           |

※従来は加入単位を「子どもの団体」と「大人の団体」と区分してありましたが、これを撤廃し、団体活動を行う5名以上の団体であれば、年齢、活動内容により加入者ごとに加入区分をご選択の上ご加入いただけます。これにより、大人・子どもが混在の団体であっても1団体として子どもの人数、大人の人数に関係なく、合計で5名以上であればご加入いただけるようになります。

- (注 1) 「スポーツ」とは、運動競技及び身体運動（キャンプ活動その他の野外活動を含む）であって、心身の健全な発達を図るためにされるものを言う。  
(注 2) 「子ども」とは、中学生以下の児童、生徒及び幼児、または盲学校、聾学校もしくは養護学校の児童、生徒及び幼児を言う。  
(注 3) 「大人」とは、高校生以上の生徒、学生及び社会人を言う。



今年度から始まった古文書講座の様子を紹介します。

昨年六月から十一月まで毎月一回、計六回の講座が松江市から講師を迎えて開催されました。テキストは、村上助九郎さんからお借りした古文書が使われ、

「天保二年 島前村々流人妻子宗門御改証拠帳控」

「天保三年 隠州島前村々流人預帳」という古文書を解説しました。

天保三年に、島前には、十八人の流人がいて、何処から何時来たのか、島前の住んでいた場所（村）や年齢もわかります。流人の一人には妻がいて、流人の未亡人だった人が一人いました。

隠岐の流人は、土地の女性と所帯をもつ者がいた事は知っていました。実際に古文書で眼にすると実感できました。

最初は先生の解説についていくのがやっとでしたが、古

文書習得の基本といわれる字を「にらんで」目に焼き付けながら読み進む内に、解らなかった字が次に出てくると読めるようになりました。

先生の講座は今年度は十一月に終わりましたが、読めた字を忘れないように、まさに「習うより慣れる」の感覚で毎月一回、自習講座を開いています。

テキストは、後鳥羽院資料館にある中良文書（崎渡辺家）の「嘉永二年 両郡船数家数並牛馬書出帳」「美田邑梅太郎船破船願控」「備前国梅保木村亀藏逗留願控」それに「清水寺の石地藏」に関する古文書です。自習なので、読めない字もあり苦労しますが、みんなでたくさん辞書にあたって読めた時は喜びです。

二十一年度開講の六月までは、自習を通して「学ぶ意欲」を持続していきたいと思っています。また、活動の一環として、民具館にある破れた屏風の下張りに使った紙を剥ぐ整理作業も行いました。

下張りに使われた紙も貴重な古文書です。

奉願一札之事

一石地藏七体

但六体ハ高二尺

壺体ハ高三尺六寸

知々井願主

地下 印

(略)

右者雲州来海石二而相調度奉願候尤馬湯江隅両御番所御宛通御差紙仰渡被為下候様奉願候此段宜敷被仰上可被下候以上

弘化五年申二月

知々井村

年寄類四郎

庄屋伝八

大庄屋峯三郎殿

右願之通被為仰付被下候様奉願候以上

大庄屋峯三郎

三谷茂助様

松田重蔵様

覚

一石地藏七体

但六体ハ高サ二尺

壺体ハ高サ壺尺六寸

知々井願主

地下

但當村清水寺六地藏外二地藏尊壺体メ七体及大破候二付此度再興仕度奉願候

(略)

右之通吟味仕候処相違無御座候間別紙願之通被仰付被下候

様此段宜敷被仰上可被下候以上

弘化五年申二月

知々井村

年寄類四郎

庄屋伝八

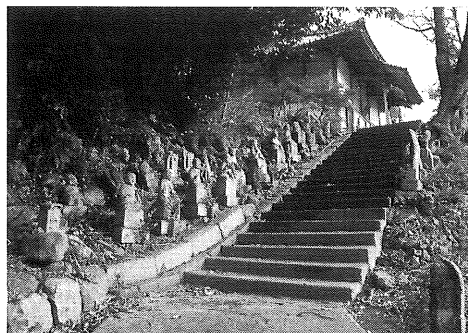
大庄屋峯三郎殿

右之通吟味仕候処相違無御座候間願之通被為仰付被下候様奉願候以上

大庄屋峯三郎

三谷茂助様

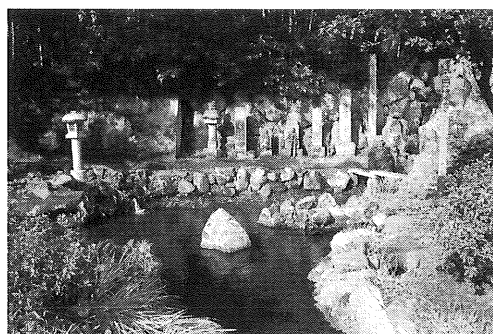
松田重蔵様



保々見の清水寺にあった六地藏とお地藏さんが壊れ、新たに雲の来待で作らせたようです。出雲から隠岐へ持ってきたのに許可が必要だったのでしょうか。

早速清水寺にいつて調べて見ましたが、石段に並ぶお地

蔵さんの後ろに壊れた古いお地藏さんがありました。来待石の性質上、百六十年前にしては、風化が少ないように感じられ確証は得られませんが、古文書を頼りに謎としますが、古文書を頼りに謎と



本町の生活用水が全て地下水によつてまかなわれていることの象徴でもある「天川」の景観は、昔から清水寺とともに地元の人たちから大切に守られてきました。

それらを知る資料として「清水寺の石地藏」に関する古文書を取り上げてみました。文化財保護委員 榊原信也